

文化ささえびと

いくまさ鉄平さん
(紙芝居・絵本・アニメーション作家)



取材を基に下絵を描き、パソコンで着色し、脚本を書く。

広島を裏方として支える人々にスポットをあて、仕事についてお話しを伺います。

いくまさ鉄平(本名/福本英伸)さんは、広島市職員時代から地域おこし活動の一環として紙芝居を制作。東日本大震災後は被災地のまち物語を紙芝居にして届けるプロジェクトを続けてきました。物語の力を使いたいいくまささんの活動をご紹介します。

古くて新しいメディア「紙芝居」でまちを元気に

いくまささんが初めて紙芝居を制作し、物語が想いを伝えるのに有効と実感したのは99年の音楽茶房ムシカ復元事業。そして、物語がまちを元気にすると確信したのが06年横川の広島かよパス活用委員会の活動でした。

それらの経験から東日本大震災後、被災地の心の支援のために立ち上げたのが「東北まち物語紙芝居化100本プロジェクト」。福島をはじめとする被災三県に伝わる民話や被災体験を聞き取って紙芝居にし、現地の仮設住宅や公民館等で上演してもらう活動です。紙芝居をベースにしたアニメーション作品も制作し、その作品は海外でも上映されました。

いくまささんは現在も被災地支援の活動を続ける一方、広島や島根で地域の歴史・伝承を地域の人たちの手で紙芝居や絵本にするまちおこし活動を展開しています。「紙芝居には心を揺さぶり、深いメッセージを伝える力がある。しかも手軽で低コスト。古くて新しいメディアとして再評価されつつあります」といくまささん。活動の詳細が「いくまさ鉄平プレゼンツ ひろしま・まち物語展」(5月3日(木・祝)～4日(金・祝) 旧日本銀行広島支店)で紹介されます。



ボランティアの人との紙芝居の裏貼り作業



被災地の物語を全国各地で上演。語り手は地元の人々が担当する。



「ありのままの被災地の姿、人々の無念を伝えたい」と、紙芝居を通じて被災地の支援活動を続けている。



アニメ「無念」のアフレコに参加した俳優の大地康雄さんと被災者の皆さん。

「文化ささえびと」は3ヵ月毎に掲載します。



私のグルメスポット

フレッド ガーデン BREAD GARDEN

イオンモール広島府中店 (安芸郡府中町)

「JAZZercise〜誰でも楽しめる!ダンスフィットネス」(詳細→本誌P.15)の講師 西林和栄さんおすすめのお店



●西林さんより

ベビー連れでも安心して入れるので、娘や孫とよく訪れます。一番の魅力は焼き立てのパンが楽しめることです。どのパンも美味しいのですが、中でも「シェフの気まぐれフレンチトースト」と「ホテルロールパン」が一番のお気に入りです。いつもメインディッシュにパン食べ放題+ドリンクバーのセットをいただきます。メインはお肉・魚料理、生パスタ、グラタンなど約20種類から選べます。野菜もたっぷり付いてボリューム満点です!



●パン好きにはたまらない、無添加の焼き立てパンが食べ放題のレストラン。

イオンモール広島府中のROJI Diningにある店。パンはいずれも無添加で、パン専門店と同等の味。毎日約12種類が店内のオープンから焼き上がる。一番人気は「おすすめプレート」(A 1,190円、B 1,240円)。A、Bとも5種類の料理が載ったワンプレートにパン食べ放題(またはライスおかわり自由)が付く。チーズフォンデュやアヒージョなどパンとの相性抜群の料理も根強い人気。季節毎のフェアや毎月12日は「パンの日」として、グランドメニュー全品にパンの食べ放題が無料で付くなど、楽しみな企画も多い。

【BREAD GARDEN
イオンモール広島府中店】
安芸郡府中町大須2-1-1
TEL / 082-508-0309
営業時間 / 10:00 ~ 22:00
(L.O.21:00)
定休日 / 無休

